

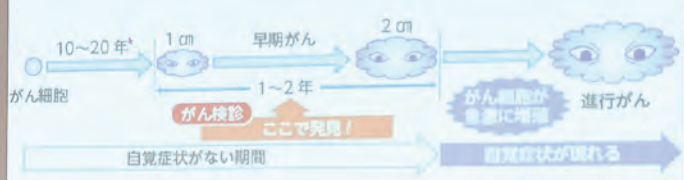


税を考える週間 特別講演会

第一講座演題
『がん治療とお金、仕事との両立』
講師 東京大学医学部付属病院
総合放射線腫瘍学講座 特任教授 中川 恵一氏

第二講座演題
『最近の財政と税務行政について』
講師 仙台国税局長 清水 雄策氏

がんは、進行・末期にならないと症状を出さない



がんの大きさが、1~2センチのうちに発見すれば、95%が完治する
1~2センチでは症状を出さないで、元気で1~2年ごとに検査が必要

税を考える週間 特別講演会

CONTENTS

- ▶ 税を考える週間特別講演会 2~3
- ▶ 法人会全国大会 群馬大会 3
- ▶ 老舗訪問 vol.9 株式会社 川徳 4
- ▶ 税制改正に関する提言・公益事業・会員交流事業 5
- ▶ 税に関する絵はがきコンクール入賞作品 6
- ▶ 青年部会活動報告 7
- ▶ セミナーのご案内・盛岡税務署からのお知らせ 8

 公益社団法人 盛岡法人会

インターネットセミナーのご案内
ホームページから無料でセミナーがご覧いただけます。
<http://iwate-ho.jp/morioka/>
会員 ID : hj1301 パスワード : 4955

令和5年度「税を考える週間」特別講演会

中川恵一氏、清水雄策氏による2講演

令和5年11月8日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて「令和5年度 税を考える週間 特別講演会」が行われた。盛岡法人会を含む7団体で構成される「盛岡地区税務関係団体協議会」が主催。国税庁が11月11〜17日を「税を考える週間」とし、税務行政に関する広聴広報に取り組んでいることに合わせ、毎年開催している。

今年も、東京大学医学部附属病院総合放射線腫瘍学講座特任教授の中川恵一氏と、仙台国税局長の清水雄策氏が講師として登壇。一般市民を含む135名が聴講した。



講師 中川 恵一氏

【第一講座】

「がん治療とお金の問題、仕事と治療の両立」

東京大学医学部附属病院
総合放射線腫瘍学講座
特任教授 中川 恵一氏

長年にわたり専門医としてがん医療に携わってきた中川氏。自身ががんを患った経験も交えながら、がん予防の大切さや先端医療の現状、患者や家族を取り巻く経済的な問題などを、穏やかでわかりやすい語り口で紹介した。

がんとは、正常な細胞の遺伝子が傷つき増殖したもの。遺伝子を傷つける要因には喫煙や飲酒などの生活習慣や感染などがあるが、もっとも大きいのが遺伝子の経年劣化と加齢による免疫の低下。日本が世界一のがん大国と

なった背景には、日本の長寿化があるという。

「がんは誰でもかかる可能性のある病気。自分の体は自分で守るという意識を持つてほしい」と中川氏。生活習慣の改善や、除菌・ワクチン接種などによる感染リスクの回避はもちろん、定期的ながん検診が重要だと話す。

「専門医が発見可能な1cmのがんが、早期がんといわれる2cmになるのにかかるのは約1年。法律で指定され、各自治体が費用を負担し実施している5つのがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）は、早期発見により死亡率を減らすことが証明されている」とも。また、就労年代の高齢化や働く女性の増加に伴い、がんは「働く人」の病気となったため、患者や家族は医療費の支出と同時に収入減という問題にも直面するようになったと指摘。早期に発見し治療を開始することで、治療期間も短く経済的な負担も軽減でき、予後の生存率も大きく高まるとして、1〜2年に1度はがん検診を受けてほしいと強く呼びかけた。「がんはわずかな知識で運命が変わ



る病気」と、若い世代のがん教育にも尽力してきた中川氏。「問題は大人」と話し、講演に際して配布された小冊子「大人も子どももがんを知る本」にぜひ目を通し、読み終わったら身近な人とも知識を共有してほしいと結んだ。

【第二講座】

「最近の財政と税務行政について」

仙台国税局長 清水 雄策氏

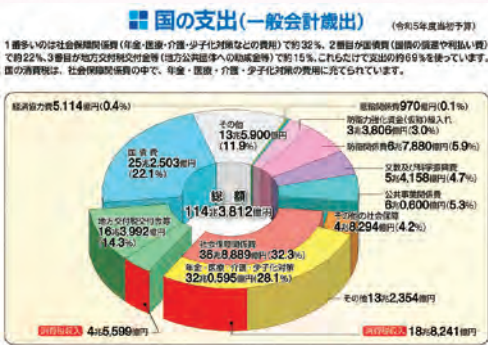


講師 清水 雄策氏

第二講座には、仙台国税局長の清水雄策氏が登壇。「最近の財政と税務行政について」と題して講演を行った。令和5年度一般会計予算の歳出・歳入を示した円グラフを提示し、「歳出が税収を上回る状況が続いている。その差を、建設国債や特例公債といった借金で賄っている状態」と説明する。公債発行額の推移や、普通国債残高の累増を示すグラフなどさまざまなデータを紹介しながら、現状の公債依存の問題点として「受益と負担のアンバランス」「望ましくない再分配」「財政の

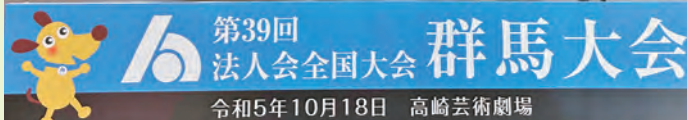
硬直化による政策の自由度の減少」「国債や通貨の信認の低下などのリスクの増大」の4点を挙げ、多角的な視点から解説した。

また講演の最後には、令和3年に国税庁より公表された「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」についても触れ、税務におけるデジタルの活用についても紹介。納税者の利便性向上や、課税・徴収事務の効率化や高度化、さらに事業者のデジタル化の促進など、その目的と効果を訴求した。



法人会全国大会 群馬大会に参加して

第39回法人会全国大会（群馬大会）がさる10月18日（水）に群馬県高崎市において開催され、県連から田口会長を団長に総勢20名（盛岡法人会からは5名）が参加しました。大会全体の参加登録者は約1500名で、大会式典・懇親会が盛会に行なわれました。



写真左から 柳田専務理事 藤村副会長 田口会長 久慈副会長 佐藤副会長

コロナ以前に戻ったような雰囲気での開催で、実行委員の皆様には大変なご苦労があったであろうと実感いたしました。

格調高い弦楽演奏のウエルカムコンサートで出迎えられ、第一部の記念講演は日本通信株式会社代表取締役社長で公立大学法人前橋工科大学の理事長福田尚久さんが講師を務めました。

第二部の式典では山本一太群馬県知事・富岡賢治高崎市長の歓迎の挨拶で始まり、税制改正要望決議案が採択され、中小企業の経営に後押しをいただいた気持ちです。今後も税制委員の一人として税制改革にしっかりと携わっていきたいと気持ちを新たにいたしました。

盛岡法人会 副会長 久慈 竜也

「創業から変わらぬ精神 地域とともにある川徳」

(株)川徳 代表取締役社長 荒道 泰之



代表取締役社長
荒道 泰之

「えびす講」が開催されるようになり、街並みの近代化も進み、モダンな生活スタイルへの変化とともに、取り扱う品物の間口も更に広がっていききました。

昭和に入ると、個人経営から近代経営に移行し、東京のデパートを参考にしながら準備が進められ、昭和12年（1937年）10月の百貨店法施行に伴い、百貨店としてスタートしました。

昭和31年（1956年）には店舗の建て替えが始まり、新店舗ではより豊かさを求める消費者心理を捉え、レジャー用品や東京味の名店、紳士・家具コーナー等が新設されるなど、時代のニーズに合わせながら商品・サービスの内容を覚えてまいりました。

昭和55年（1980年）には、盛岡の中心地に発展する可能性を秘めた菜園地区に「パルクアベニューカワトク」として本店を移転オープンし、平成元年（1989年）には新興住宅地の緑ヶ丘に「アネックスカワトク」をオープンするなど川徳グループの新時代を築いてまいりました。

その後、バブル崩壊やリーマンショック、大型SCの進出、ECの台頭に加

え、少子高齢化等により百貨店業界自体の市場規模が縮小となり、この10数年においては経営資源の集中を目的とし、岩手県内のサテライトショップの閉店や企業グループの統合を断行してまいりました。その後、2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の影響等により、弊社も業績悪化が避けられず、昨年4月に新会社に移行し現在に至っております。

川徳として大切にすべき商いの精神は創業当初から変わりませんが、新しい価値観など、時代の変化に応じて私たちも変化していかなければならないと感じています。その中で、地域に暮らすお客様にどのようにご満足いただくかを考える上で、SDGsなど世の中の多様化が進んでおり、今まで以上に街との共生に取り組んでいかなければならないと思っております。こうした中、先人達が創業当時思い描いていた盛岡の将来を、時代は違えど今の時代に応じて、もう一度、深く考えていくことが私たちの存在価値の向上に繋がると捉えています。

企業の永続的な発展を目指していくのは当然ですが、そこには地域・街があり、ともに発展していく、その気持ちを改めて認識しながら、岩手県盛岡市に根差す企業として、今後も地域の皆様の生活をより楽しく、より豊かにするパートナーであり続けられるよう、引き続き取り組んでまいります。



昭和55年 菜園移転オープン当時



明治38年初冬、川徳呉服店のたたずまい



平成元年
アネックス店
オープン当時



肴町時代の旧店舗
(1階フロア)

当社は慶応2年（1866年）の春、川村徳松が盛岡城下鉦屋町に木綿商を開業し、今年で創業158年目を迎えます。当時より「奉仕こそわがつとめ」を社是として、お客様との絆を大切に誠心誠意、心をもって心に接することを志し、商いを通じて地域社会への貢献、活性化を目指してまいりました。

歴史を紐解くと、盛岡藩が解体され多くの豪商が衰退し新しい商人が台頭する時代の明治8年（1875年）に、当時最も賑やかだった肴町に呉服店を構え、古着、糸、木綿だけでなく薄物や絹など女性好みの着物を取り揃え、盛岡市の発展とともに成長してまいりました。

明治31年（1898年）には新しい需要に応える為、洋品市場の開拓に乗り出し、大正時代に入ると川徳恒例の

令和6年度税制改正に関する提言

各市町長へ税制改正提言書の提出

盛岡市

令和5年11月24日(金)



(左) 内館茂市長 (右) 久慈竜也税制委員長

滝沢市

令和5年12月8日(金)



(左) 武田哲市長 (右) 木村昭仁支部長

八幡平市

令和5年11月28日(火)



(左) 佐々木孝弘市長 (右) 工藤隆一支部長

矢巾町

令和5年11月27日(月)



(左) 水本進支部長 (右) 高橋昌造町長

雫石町

令和5年12月5日(火)



(左) 高橋憲功支部長 (右) 小林由美子税務課長

岩手町

令和5年12月14日(木)



(左) 熊谷洋造企画商工課長 (右) 遠藤邦則支部長

紫波町

令和5年12月1日(金)

佐々木盛雄支部長より熊谷泉町長へ提出

会員交流事業

第26回チャリティーゴルフコンペ

開催日: 令和5年10月25日
場 所: メイプルカントリークラブ
参加者: 20名



公益事業

年末調整実務のポイント

開催日: 令和5年11月22日
講 師: 李 怜香氏(メンタルサポートろうむ)
参加者: 39名



決算説明会

開催日: 令和5年12月12日
講 師: 大友上席国税調査官(盛岡税務署)
参加者: 8名

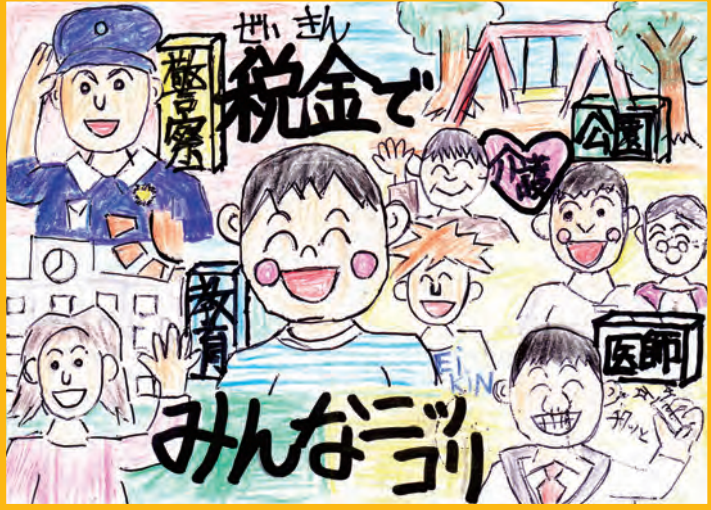


ぜい かん 税に関する え 絵はがきコンクール

令和5年度
入賞作品



盛岡法人会長賞



盛岡市立厨川小学校
柏田 幸梓さん

法人会女性部会では、租税教育活動の一環として、小学6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を全国的に実施しています。

令和5年度は、盛岡市、八幡平市、滝沢市、紫波町、矢巾町の18小学校から294作品の応募がありました。

盛岡法人会
女性部会長賞



盛岡市立河北小学校
金 愛美さん

盛岡税務署長賞



盛岡市立太田小学校
佐々木 愛莉さん

学校奨励賞



盛岡市立桜城小学校
飯塚 紅さん

学校奨励賞



盛岡市立仙北小学校
笹森 優芽さん

◆主催：(公社) 盛岡法人会女性部会 (公財) 全国法人会総連合 ◆後援：国税庁

第37回全国青年の集い 山形大会

開催日：令和5年11月9日～11月10日 場所：やまぎん県民ホール 参加者：7名

第37回全国青年の集い山形大会「為せば成る！～感謝と恩返し of 想いを胸に～」

11月9日（木）、10日（金）、全法連青連協主催「全国青年の集い」が山形市で開催されました。全国大会の肝となるのは、一般会員の聴講も可能な、「租税教育活動プレゼン大賞」、並びに、「健康経営大賞」の2つの選考会です。審査の結果、租税教育活動大賞には、地元大学と協力して大学生と共に小学生に租税教室を行った、佐世保法人会が選ばれました。健康経営単位会部門の大賞には、北那覇法人会「人・地域・心を結ぶ健康経営！」が選ばれ、地域や行政と連携した事例が評価されました。また、健康経営企業部門の大賞には、ネットトヨタ山陽「ずっと続ける健康経営」が選ばれ、健康基準を数値化して継続性を評価できる事例が評価されました。審査委員長（医師）から「健康経営は、根拠、数値化、継続性が大切。まずは経営者の禁煙から。」と講評がありました。基調講演では、ヤマガタデザイン山中社長から「自らがリスクを取って挑戦する。だからこそ価値がある」との表題で、地方企業・教育分野の可能性について示唆に富んだ講演が行われました。来年は福井大会が予定されています。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

盛岡法人会 青年部会長 熊谷 松亮

租税教室

開催日：令和5年10月19日
会場：盛岡市立下橋中学校
参加者：3学年 80名



経営セミナー

開催日：令和5年12月7日
演題：健康経営プロジェクト
講師：大泉 勝嗣氏（アーク株）
参加者：19名



租税教室

開催日：令和5年12月13日
会場：岩手町立川口中学校
参加者：3学年 17名



セミナーのご案内

経理業務効率化セミナー

令和6年1月29日(月)
14:00~16:00

講師：藤原 敬行 氏
(ナレッジフォース・
パートナーズ 代表)



生産性向上のためのパソコン整理術

令和6年2月9日(金)
14:00~16:00

講師：大谷 更生 氏
(大谷更生総合研究所
合同会社 代表社員)



ビジネスマナーの基本

令和6年4月19日(金)
13:30~16:30

講師：津田 典子 氏
(Fine HR 代表)



法人税確定申告書の見方・書き方講座

令和6年2月16日(金) 14:00~16:00

決算説明会

令和6年3月6日(水) 10:00~12:00
13:30~15:30
(午前・午後とも同じ内容)

新設法人説明会

令和6年3月8日(金) 14:00~16:00
講師：盛岡税務署職員

※会 場：いずれも岩手県法人会館
(盛岡市盛岡駅西通1-3-3)
※定 員：各講座先着40名
※受講料：無料



盛岡税務署からのお知らせ

国税の

簡単! 便利な!

税 国税庁

キャッシュレス納付のご案内

国税の納付は、**金融機関や税務署等の窓口に行く必要がない**、非対面の「キャッシュレス納付」が大変便利です。

1>>ダイレクト納付

こんな方におススメ!

e-Taxで申告されている方、源泉所得税の毎月納付
など頻りに納付手続をされている方

さらに
詳しい
情報は
こちら



ダイレクト納付の申込みをすることで、e-Taxから簡単な方法で口座引落としにより納付する方法です。

納付方法

パソコンやスマホから、即時
又は納付日を指定して、口座
引落としにより納付する方
法です。

事前手続

e-Tax利用開始届出書、ダイ
レクト納付利用届出書の提出
が必要です。

